

みやざき茶の概要について

令和6年4月26日
農産園芸課

1 みやざき茶の特徴

- ・本県では、沿海部は煎茶、中山間地域では釜炒り茶が中心に生産されている。
- ・煎茶は平坦な茶園を中心に、乗用型管理機の導入等により大規模経営が展開されている。(面積766ha)
- ・釜炒り茶は、全国一の生産量を誇り、全国茶品評会で常に上位入賞を果たすなど、全国有数の産地となっている。(面積128ha)
- ・近年では、輸出向け有機栽培茶の生産拡大や、茶業支場で技術開発された烏龍茶や和紅茶など特徴ある茶の産地化が進んでいる。

2 生産状況・価格の推移

- ・本県の茶生産量は全国第4位（1位：静岡県、2位：鹿児島県、3位：三重県）
- ・農家戸数、栽培面積、荒茶生産量は減少傾向

項目	R1	R2	R3	R4	R5
農家戸数(戸)	544	494	451	435	395
栽培面積(ha)	1,380	1,330	1,270	1,230	1,200
荒茶生産量(t)	3,510	3,060	3,050	3,000	2,940

(出典：農家戸数；農産園芸課調査、栽培面積・生産量；国農林水産統計)

3 令和6年産の茶の生育や入札状況

- ・令和6年産の一番茶の生育は県内全域で平年並みとなっている。
- ・4月12日に本年産のみやざき茶の初入札会が開催された。
- ・初入札では新茶らしい香気、深みのある味に優れる良質な茶が取引された。

【初入札結果(4/12)】

平均単価	5,773円/kg (前年 3,519円：前年比164%)
最高値	24,000円/kg (前年22,227円：前年比108%)
最安値	3,044円/kg (前年 2,269円：前年比155%)